

# 社協だより\*とうかい

—東海村社会福祉協議会が目指すもの—

「かけがえのない一人ひとりの想いと行動を紡ぐまちづくり」

## <今号の特集>

### 村社協の予算・事業計画と機構改編

～村社協の今後の方針と

「絆」の窓口変更のお知らせ～



## すこやかな成長を願って～親子で楽しむ端午の節句～

児童センターの設定保育「作って遊ぼう」(毎週火曜日)で、端午の節句に合わせて兜と鯉のぼり作りをしました。新聞紙で作った兜は色紙などできれいに飾りつけをし、鯉のぼりは、色画用紙でカラフルに作りしました。

参加した親子は延べ60組。男の子だけでなく、女の子も積極的に参加し、ハート型の色画用紙で飾るなど、兜作りを楽しんでいました。

子どもたちは作った兜をかぶったり、鯉のぼりを持ったりしながら、児童センター前に飾られた五月人形や大きな鯉のぼりの前で写真撮影。みんなの成長を、元気いっぱい祈願できました。

## Contents

2015年度 予算及び事業計画と機構改編の概要	2
村社協 新役員の紹介	4
「ふれあい福祉まつり」が隔年開催となります!	4
どんなことでもボランティア	4
社協情報局	4
待ちに待った福祉車両～障害者センターで大好評～	5
善意銀行2・3月分の寄付報告	5
社協だより発行回数変更のお知らせ	6
ふれあい広場事業のお知らせ	6
くろ～ずあっぷ きずなびと	6

# 2015年度 予算及び事業計画と機構改編の概要

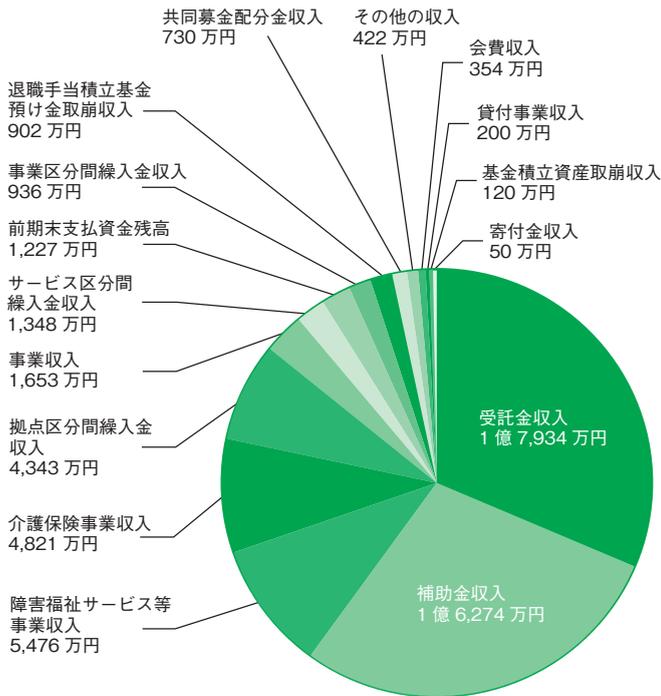
本年度は第3次東海村地域福祉活動計画の3年目となります。

この計画の基本目標は、①小地域ネットワーク活動の推進 ②ボランティア市民活動の推進 ③支援ネットワークづくり ④地域生活支援の充実 ⑤子育て・子育てサポート体制の強化の5つです。

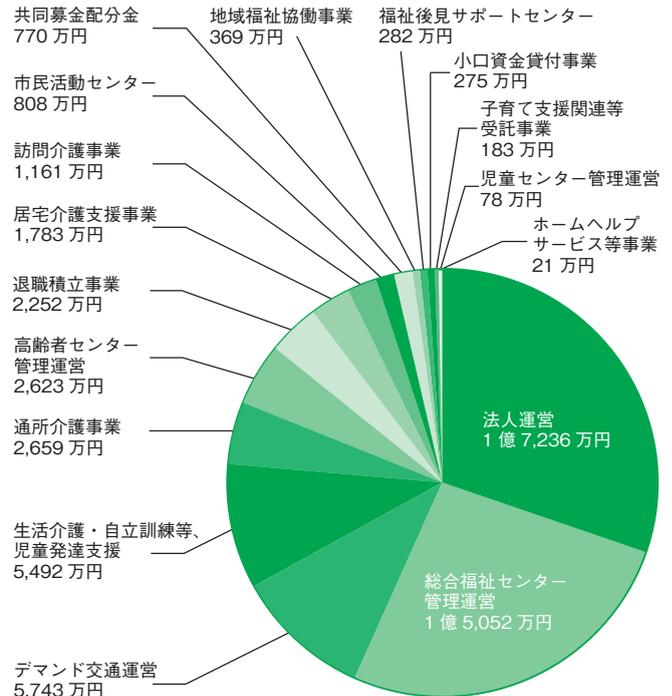
この5つの基本目標の実現に向け、下記の予算を基に活動を展開いたします。

## <本年度予算>

### 収入合計 5億6,796万円



### 支出合計 5億6,796万円



## <時代に沿った事業に力点を>

村社協では平成26年8月より、①住民サービスのさらなる向上 ②経費の節減 ③職員がより深く事業に注力できる環境づくりの3点を目的に掲げ、全事業の見直しを行ってきました。

本年度より、見直し後の事業方針に沿って、運営をしていきます。

事業の見直しは、平成26年8月～9月にかけて行いました。調査対象は、89ある全事業。それを「廃止」・「休止」・「改善」・「現状のまま継続」の4つに大別し、検証しました。

「廃止」となった事業も、将来的にニーズが発生することが考えられます。その場合には、新規事業として再度立ち上げる予定です。「休止」は、当面の事業の取りやめを示し、「改善」は実施している事業の一部についてやり方を変更します。「現状のまま継続」に関しましては、継続して取り組みつつ、必要がある場合に改善を加えていくこととなります。

さて、事業の休廃止には、当然ながら賛否両論の御意見をいただくことを想定しています。そのため、休廃止の判断基準を、下記のように絞り込みました。

- ①役割を終えても継続している
- ②目的が不明確になった
- ③事業が地域の自立を阻害している
- ④行政側に同種の事業が並列して存在している
- ⑤社協以外の機関が行った方が合理的・効率的である

この結果、見直し後に「廃止」となった事業は16、「休止」は3事業、改善は55事業、「現状のまま継続」は15事業となりました。



事業見直しによる効果を活かすために、今後は社協の基幹業務である対人援助、地域に根ざしたきめ細やかな対応、さらには「村社協にしかできない事業」「村社協がやるべき事業」に特化していく所存です。

現在の日本は、少子高齢化、核家族化といったかつて経験したことのない社会に入りました。

そういう時代の社会福祉協議会のあるべき姿を常に追いつけ、その方向に間違いのないよう検証を続けながら事業展開を進めていきます。

## <機構改編について>

村社協の機構改編を行い、平成27年3月30日から、**ボランティア市民活動センター「えがお」と高齢者センター**の事務局を、「絆」正面入口を入ってすぐにある村社協の事務局へ統合しました。

今回行った機構改革の目的は、1カ所で全ての手続きができる「ワンストップサービス」の実現です。2ページでご紹介した「事業の見直し」を含め、今まで以上に住民の方へ充実したサービスを提供するための取り組みとなります。

変更に伴いご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### ●窓口移転のお知らせ●

#### 高齢者センター

～お風呂やプール、筋力トレーニング室や大広間などは変更なし～

高齢者センターの事務局は場所が変わりましたが、お風呂やプール・大広間などの利用方法は変更ありません。お風呂などの券売機の場所も変更ありませんので、継続してご利用いただけます。

利用のための登録や各種教室の申し込み、教室の利用料金の支払いについては、正面窓口にて行っていただくことになります。

高齢者センター直通の電話番号は、これまでどおりご利用できますので、お問い合わせください。

**【お問い合わせ】** 施設管理係（高齢者センター担当） ☎282-4300



▲高齢者センターの各種手続は、正面入口前の事務局へお越しください。



▲高齢者センターの各施設はこれまでどおりご利用いただけます。

#### ボランティア市民活動センター「えがお」

～活動室やコピー機は今までどおり村民活動センターで～

「えがお」の事務局も、「絆」の事務局に移動しました。

これまで利用していた村民活動センター内の「活動室」は、今までどおり、ご予約の上使用できます。

また、村民活動センターにあるコピー機や裁断機も、今までどおりカードを挿し込んで使うことができます。

カードは、村民活動センター受付でお渡しします。

電話での連絡先は、下記のようになります。

**【お問い合わせ】**

「絆」内ボランティア市民活動センター事務局 ☎283-4538

**【活動室予約】**

「村民活動センター」内活動室予約専用電話 ☎283-4344



▲デマンドのオペレーターは、引き続き村民活動センターの2階で勤務しています。



▲活動室のご予約は、予約専用番号ができました。

## 村社協 新役員の紹介

平成27年4月1日付けで、村社協の役員の一部に変更がありましたので紹介いたします。

### ●就任

常務理事 飛田 稔 (行政経験者)  
理事 中村 正美 (東海村福祉部長)  
監事 永井 明 (会計管理者兼会計課長)

### ●退任

理事 久賀 洋子 (前東海村福祉部長)  
監事 佐藤 幸也 (前会計管理者兼会計課長)

この他の役員については変更ありません。  
今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

## 「ふれあい福祉まつり」が隔年開催となります！

毎年、たくさんの皆さんに参加いただいている「ふれあい福祉まつり」が、隔年開催に変更となりました。

次回の開催は、平成28年6月頃に予定しております。これまで以上に交流の輪が広がるよう、実行委員会が準備を進めてまいります。平成27年9月には実行委員会を開催する予定です。新たに参加を希望する方は、事務局までご連絡ください。



**【問い合わせ】**  
ふれあい福祉まつり  
実行委員会事務局  
(地域福祉推進係)  
☎283-4538

## どんなことでもボランティア

### ～個人ボランティア紹介～

ボランティアと聞くと団体での活動をイメージしやすいと思いますが、個人で活躍している方もたくさんいます。今回はそのような個人ボランティアの中から、「囲碁ボランティア」としてデイサービスで活動中の高杉さんを紹介します。

### <施設ではどんなことをしているの？>

月2回のペースで訪問して、利用者と一緒に囲碁を楽しんでいます。私が囲碁を教えるというより、私の方が教えてもらっている状態ですが、利用者が喜んでくれる姿を見ると私も嬉しくなります。

### <活動をする上で大事にしていることは何ですか？>

「してあげる」ではなく「一緒に楽しむ」ということを大事にしています。もしかしたら、利用者より私の方が楽しんでいるかもしれないです(笑)。

このようにボランティアにもさまざまな形があり、決して難しいものではありません。「活動してみたい」と思われている方は、ぜひ一度お問い合わせください。

**【問い合わせ】** 地域福祉推進係 ☎283-4538



▲求めてもらえる間は  
続けたいと話す  
高杉信一さん(78歳)



## 社協情報局



### 児童 センター

### じょうずにできたね シャボン玉

児童センターでは利用者の親子と一緒に、多目的グラウンドや児童公園でシャボン玉遊びをしました。

子どもたちは自分でシャボン玉を膨らませたり、お母さんが吹いたシャボン玉を追いかけたりと、みんな大はしゃぎ。

中でも人気があったのが、うちわの骨組みを使ったシャボン玉。シャボン玉液に浸して振ると、一度にたくさんのシャボン玉ができるので、子どもたちは大喜びでした。

終わるころには、みんな上手にシャボン玉を吹けるようになりました。



### 施設 管理係

### 「絆」のAEDが増えました

「絆」には、今まで正面玄関付近にAEDが1台設置してありました。さらに、平成27年3月、新たに高齢者センターの浴室近くにも設置し、合計2台のAEDを保有することとなりました。

AEDとは、心臓の状態を自動で判断し、心室細動という心臓がけいれんを起こしている状態であれば、電気ショックによって心臓の動きを正常に戻す機能のある機械です。

台数の増加によって、広さのある「絆」内での緊急対応がしやすくなりました。「絆」に来所した際は、一度設置場所をご確認ください。



# 待ちに待った福祉車両 ～障害者センターで大好評～

3月17日(火)、「絆」の多目的ホールにおいて、日本財団から贈呈された福祉車両のお披露目式が行われました。

この車両は、障害者センターの公用車として、利用者の送迎や外出・地域交流に活用されます。そのため、式典には村役場介護福祉課の大内係長をはじめ、障害者センター利用者やそのご家族が列席されました。

さらに、式典後半には障害者センターのアンサンブルグループ「ポコ・ア・ポコ」が、感謝の気持ちをこめて4曲の合奏を披露。列席者の耳を楽しませてくれました。

今回の助成は、村社協障害者センターの日ごろの活動が日本財団に認められたことによって実現しました。これにより、車両の老朽化によって利用者の送迎時に感じていた不安が払しょくされました。また、事業の一環である「クリーン作戦」にも、みんなで出かけることができそうです。

式典後、さっそく「絆」の周りをドライブしたところ、利用者の1人は「新しい車の匂いがする」と嬉しそうに話していました。また乗降口が広いので、乗り降りがしやすいという声も聞かれました。車イス利用者も負担が少なく乗車できます。

カラフルで心が弾むようなこの新車両を事業に生かしつつ、きれいに大切に使用していきたいと思っています。



▲エレクトリカルパレードなど4曲の熱演で会場が盛り上がりました。



▲大好評の助成車両。デザインも、利用者のお気に入りです。



▲村社協会長より、障害者センター利用者代表の明内淳二さんへレプリカキーを贈呈

今回の助成は、村社協障害者センターの日ごろの活動が日本財団に認められたことによって実現しました。これにより、車両の老朽化によって利用者の送迎時に感じていた不安が払しょくされました。また、事業の一環である「クリーン作戦」にも、みんなで出かけることができそうです。

式典後、さっそく「絆」の周りをドライブしたところ、利用者の1人は「新しい車の匂いがする」と嬉しそうに話していました。また乗降口が広いので、乗り降りがしやすいという声も聞かれました。車イス利用者も負担が少なく乗車できます。

カラフルで心が弾むようなこの新車両を事業に生かしつつ、きれいに大切に使用していきたいと思っています。

カラフルで心が弾むようなこの新車両を事業に生かしつつ、きれいに大切に使用していきたいと思っています。

## 善意銀行2・3月分の寄付報告

皆さまからお寄せいただいた善意は、村社協が行う福祉事業や在宅福祉機器購入に充てられます。



### 金銭の部

(敬称略・受付順)

ご芳名	預託金(円)
住吉山長松院護持会	38,000円
東海村カラオケ連盟	76,463円
原研有志一同	1,002円
富田 文子	7,000円
中丸小学校4年生	7,599円
四代目月の家圓鏡 茨城県支部後援会会長 澤畑 光	30,000円
塚本 華菜	1,412円
全日本年金者組合東海支部	5,000円
すみれっ子	89円
東海村役場有志一同	14,750円
匿名 2件	3,156円



◀東海村カラオケ連盟様より寄付をいただきました。

### 寄付をお願いします

トーマスのおもちゃ、書き損じはがき、絵の具、クレヨン、トミカのミニカー、ぼぼちゃん人形(抱き人形)・ぼぼちゃんのお洋服

【問い合わせ】企画総務係 ☎282-2804

### 物品の部

(敬称略・順不同)

ご芳名	預託品
池田 裕二郎	囲碁道具一式
匿名 7件	図鑑一式、クレヨン、おもちゃ、エプロン、ハンカチ

### 使用済み切手・ベルマーク・テレホンカードなど

(敬称略・順不同)

ご芳名
㈱岩谷空圧、千葉 悠太、高木 日出夫、三国屋建設㈱東海支店、原研有志一同、篠原 登、なかよしバドミントン、中丸小学校4年生、東海村社会福祉課、石川 喜代次、すみれっ子、㈱照沼商事、匿名(4件)



	日時
心配ごと相談	毎週金曜日 午前10時～午後2時
心配ごと電話相談	毎週水曜日 午後1時半～3時 毎週金曜日 午前10時～午後2時 専用電話 ☎282-0917
弁護士相談	6月5日(金) 午前10時～正午 予約制(1組約20分) 予約開始: 5月18日(月)から先着6組
行政書士相談	6月12日(金) 午後1時半～3時 予約制(1組約30分) 予約開始: 5月11日(月)から先着4組
子育て相談	月～金曜日 午前9時～午後4時 専用電話 ☎306-1017

※相談会場: 子育て相談は、児童センター  
それ以外は、総合福祉センター「絆」内の相談室  
【申し込み・問い合わせ】  
福祉後見サポート係 ☎282-2804

## 社協だより 発行回数変更のお知らせ

平成27年度より、「社協だよりとうかい」の発行回数が下記の年4回となります。

5月15日号	8月15日号
11月15日号	2月15日号

このほか、ホームページやFacebookではリアルタイムに情報を発信しております。

ご覧になれる環境をお持ちの方は、ぜひ一度のぞいてみてください。

【ホームページ】 <http://www.t-shakyo.or.jp/>

【Facebook】

<https://www.facebook.com/tokaimurashakyo>

## ～ふれあい広場事業のお知らせ～

平成17年から10年間にわたって皆さんに楽しんでいただいた「ふれあい広場事業」が、終了することとなりました。支えてくださったボランティア団体・ステージやギャラリーに参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました。ミニギャラリーや小学校の夏休み期間に行っていた工作企画なども、併せて終了となります。

今後のふれあいロビーの活用については、皆さんが使いやすいスペースとなるよう、村社協内で検討していきます。

### <ふれあい広場事業の実績>

ミニステージ出演団体数: 延べ96組、ミニギャラリー展示会: 18回、子ども企画実施: 8回



▲第1回目のミニステージは、生まれつき両目が不自由な久木崎昭氏によるエレクトーン演奏でした。



▲最後のミニステージ(第96回)となった、障害者センター音楽団「ボコ・ア・ボコ」によるアンサンブル。



▲大スクリーンで見る星空と工作教室



▲満点スマイル家族の絆展

## シリーズ Vol.13

### くろ～ずあつぷ きずなびと

今回は、障害者センターで機能回復訓練(リハビリ)を行っている茨城東病院の理学療法士の先生にお話を伺いました。

#### ●どのような活動をしていますか？

理学療法士は病気・障害などによって運動機能が低下した状態を評価・分析をします。

また起き上がり・立つ・歩くなどの日常生活に不可欠な基本動作能力の改善や、運動療法により正しい動きの学習と指導を行っています。

#### ●仕事の魅力を感じる時は？

目の前の利用者ができなかった事ができるようになった瞬間です。利用者が自分の変化を心から喜んでいる姿を見るといつも感動します。そうした瞬間に立ち会えたときの喜びが大きな魅力だと思います。

#### ●いつも心掛けていることは？

利用者の視点を大切にすることです。症状や障害の程度がさまざまです。そのため利用者一人ひとりに最適な理学療法を提供するには利用者の視点、家族の視点で物

事を考える必要があると思っています。

#### ●今後の目標や取り組んでみたいことは？

今はいろいろ疾患・症例などの生活スタイルを多く学んで、地域や生活に根ざした理学療法士になりたいと思っています。

#### ●最後にメッセージを一言

理学療法士の3人がローテーションで毎週木曜日の午後1時半～3時半まで行っています。

普段は病院で呼吸器疾患・がん・重度心身障がい児のリハビリをしていますので、よろしく願いいたします。



#### ～編集委員から～

楽しくコミュニケーションを図りながら利用者一人ひとりの個性に合わせて支援していただいています。おかげで、筋力が維持でき、歩行が安定してきた利用者も出てきました。いつも温かいご指導ありがとうございます。

社協だよりに関するご提案・ご意見がございましたら、お気軽にお寄せください。